

## 中間まとめ <Worksheet-1 作成>

第 1～3 章では、サステイナブル工学の全体像を理解するために、まず、人類の共通理念である「サステイナブル・ディベロップメント (sustainable development)」とその具体像たるサステイナブル社会の構築に必要な不可欠な planet (環境との調和)、people (生活の質の向上)、prosperity (経済の活性化) という 3 つの視点を導入し、サステイナブル工学の中核をなす「ライフサイクル思考 (Life Cycle Thinking)」とサステイナビリティ (sustainability、持続可能性) について考察した。そして、現状把握を目的として、環境とエネルギーの問題およびその対策に関する世界情勢や国内動向等について概観し、包括的な知見を提示した。

次いで第 4～6 章では、サステイナブル材料、サステイナブル設計・製造、サステイナブル電気電子工学の各領域において、サステイナブル社会の実現に貢献する特徴的な技術内容について具体事例を中心に紹介し、サステイナブル工学を支える各専門分野の役割と方向性を確認した。

ここでは、こうした多面的で広範な知識に関する体系的な整理を実施して、サステイナブル工学に関する理解を確実なものとする。さらには、第 7 章以降で展開されるサステイナビリティの評価に向けた様々な分析手法や定量化指標に対する学修効果を向上させるため、各専門分野とサステイナブル工学との関わりについて再認識する。

Worksheet-1 は上記の目的で用意されている。ダウンロードして表を完成させよ。